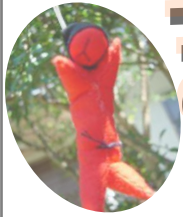


9月



まちづくり通信

発行 飛騨高山まちづくり本舗
住所 〒506-0845
高山市上二之町 44-4
電話&FAX 0577-33-5282
homp@takayamashishouren.net

まちの話題いろいろ ドリーミンオフィシャルサイト ★<http://www.takayamashishouren.net/d/>

伝え つなぎ 託す 親世代～子世代～孫世代へ

合併後初の「夏休み作品展」は 万博のような人出でした！

夏休みの児童・生徒の作品展が開催されました(9月9日・10日・11日)。第44回と歴史ある「全飛騨発明くふう展・未来の科学の夢絵画展」、「高山市科学作品展」、第30回となる「飛騨児童・生徒木工作品コンクール」、そして第9回となる「こどもまちづくりコンクール作品展」、今年始まった第1回「夏休み”わたしの道”」展です。

今年は、高山市民文化会館3・4階二会場に所狭しと作品が並び、両会場はこれまでにない賑わいぶりでした。

3日間で9日266名、10日964名、11日1,733名、計2,963名と、3,000人近い方々が来場されました。

それぞれ成り立ちも、内容も、主催(後援)も違う5つの組織、団体、実行委員会がそれぞれに作品を募集し、独自にその努力を賞し、こどもたちの夢や創造性を応援してきた地域の土壌がここに 있습니다。毎回大勢の地域の大人たちが仕事の合間をぬって準備や片付けにかかわっています。

審査会翌日には入賞者名が新聞紙上に発表され、会場は親子連れや、孫の作品を探すじいちゃんばあちゃんが足を運ばれます。たくさん作品の前に、来年こそはと意気高揚するこどもたち、大人たち。こどもたちが多方面にわたりって汗かくで取り組んだ作品の数々は、夏の終わりに心地よい達成感を漂わせていました。



こどもまちづくり作品コーナー
貴重な意見を手帳にメモする男性の姿もあり

新たな発見 新たな体験 寺子屋かんかこかん

四つのメニューで開催された「寺子屋かんかこかん」に、のべ50人余りが参加しました。ボランティアの高校生のお兄さんやお姉さん、更生保護女性会の皆さんが各回加わって、文化伝承とさながら異世代交流の場となりました。(7月28日・8月4日・11日・18日)



①「たのしい和菓子のおはなし」
老舗の和菓子屋のご主人による和菓子のお話。和菓子がとても身近になった。

③「さるぼぼを作ろう！」
針と糸で赤い布をぬって綿を入れてさるぼぼ完成。
小学生も高校生もいっしょに作った。



春慶塗りの箸が綿を入れやすいよ

②「歌の旅
海へ行こう！」
走るSLの映像とともに唱歌や童謡を歌いながらの海への旅。波音にひたって部屋は海辺になった。



④「何でも描けちゃう白い本を作ろう」表紙は何色にしようかな。2時間かけて、夏休みの思い出も描ける白紙の本ができた。

～子どもたちの 距(距離)を 近づけてみませんか～

子どもを大切にすることを願う皆さんと子育てを話し合う場

おしゃべりひろば『母親支援の子育て』

- 第1回目 丹生川緑地センター
9月28日(水) 午前10時～11時半
- 第2回目 高根保育園
10月5日(水) 午後1時半～3時
- 第3回目 上宝支所
10月17日(月) 午前10時～11時半
- 第4回目 久々野福祉センター
10月26日(水) 午前10時～11時半

子どもにやさしいまちづくり計画について紹介、飛騨子ども相談センター児童福祉司、高山市家庭児童相談員さんも参加して、子育てについての悩みや、重点的に取り組んでほしいこと、取り組みたいことなどを気軽に雰囲気です話します。

【主催】高山市【問合せ】高山市福祉保健部子育て支援課
0577-35-3140 FAX 0577-35-4884
※託児の申し込みは一週間前までに同課まで

子どもの心を考える講演会 飛騨慈光会 50周年事業

日時◇10月2日(日)午後1時開場 1時30分開演
講師◇目加田 信剛さん

会場◇高山市民文化会館 ◇入場無料

現代社会の歪みの中で揺れる子どもたちの「心」。大人はいったいどんなスタンスで向き合えばいいのでしょうか？

本当に豊かで健康な心とは何なのかを一緒に考えてみませんか！

主催◇飛騨慈光会／児童養護施設有陽ヶ丘(問合せ 34-0499)

長谷川 博一さん(東海女子大学教授)講演会

～子どもたちの「心」に闇をつくらないために～

日時◇10月20日(木) 午後3時～

会場◇高山市民文化会館 ◇入場無料

親の立場から虐待問題にアプローチする「親子連鎖を断つ会」主宰者で池田小殺傷事件元被害者など数々のカウンセリングを手がけている長谷川さんの講演会

主催◇高山地区防犯協会(高山警察署生活安全課 32-0110)

第2回『あったかい いのち』の集い

日時◇10月2日(日)14時開演(開場13時半)～16時

場所◇きりう福祉センター ◇参加無料

- 詩の朗読と楽曲演奏
- 子供の詩集「こどもの詩がうまれたよ」から
- 三線等の演奏とうた
- 戦争体験者の方による当時のお話

【出演】がむしやらあむしもくばーず/植村武さん

問合せ：090-7439-6303(夜)水野さん



感動再び 桑山紀彦「地球のステージ」ミニライブ

日時◇10月3日(月)19時～

会場◇まちひとぷら座かんかこかん

定員◇50名 参加費◇300円

この夏、7会場での巡回公演に感激した「地球のステージ」のミニライブが実現。昨年暮れ、世界を驚かせた地震による津波災害。桑山さんが救援に入ったスリランカの被害や復興の様子。コミュニティの大切さ。現地映像を交えたライブに加え、1年前の高山での災害も振り返ります。

申込みはFAXで0577-33-5282 まちづくり本舗へ

教えて協子さん その⑤

協働のまちづくりで 欠かせないことは？

市民活動を応援する
市民活動のための
市民活動

まちづくり本舗編集ハンドブック
『地域暮らし読本、協働のまちづくりのしくみづくり』より

◎協働のまちづくりをしようにも、自分たちの組織以外がどのようなことをしていたり、どのような得意があるのかわからないし、わかるための術もみつきりません。

(暗中模索中のEさん)

5. 協働のまちづくりの流れその1

まず何よりも出だしとして大事なものは情報の共有ということです。多くの自治体ではその役割をNPOサポートセンターやボランティアセンターなどといった形で行政が担い手となっている場合が多いようです。ただし、そこに配属される行政職員が常に情報の共有に対する必要性和要領を持ち合わせているとは限りません。やはり、そのような気持ちをひとつの市民活動として取り組む組織が行う方がいいのではと思います。NPO法では「市民活動を支援する市民活動」と位置づけられていますが、そのような組織が複数存在しているようなまちだったらいいなと思います。

平安京の幕開けに見る飛騨の匠の意地と誇り

演劇『羅城門』飛騨高山芸術月間 2005

澤田ふじ子氏の小説を原作とし、脚本、演出、俳優、舞台芸術、衣装、音楽など、70人を超える市民ボランティアが参画。

日時：10月22日(土)19時開演(30分前開場)

10月23日(日)14時開演(30分前開場)

会場：高山市民文化会館 大ホール

入場券：500円全席自由(文化会館、各支所にて売り出し中)

問合せ：0577-35-3155 同事務局(教育委員会生涯学習課)

救命講習会に参加しませんか (AED使用方法も含む)

乳幼児・新生児・小児の救命法に加え、昨年7月から一般市民に使用が認められたAED(自動除細動機=電気ショック)の使い方も含まれます。こどもさんにかかわる仕事をされている方、若干の人数の余裕があります。ご参加下さい。

9月26日 9:30～12:30 山王福祉センター

9月29日 9:30～12:30 総合福祉センター

※参加申込みは、090-1749-9065 きんたろうの会

『災害ボランティアのコーディネート研修会 in 飛騨高山』

台風23号災害から一年。昨年の災害では、多くのボランティアが被災者支援活動に汗を流しました。そこで得たノウハウ、他の災害で得たノウハウを飛騨高山から発信しようと、10月20日及び11月30日に飛騨生活文化センターで研修会が開催されます。

問合せ・参加申込み NPO法人サポートコミュニティ飛騨 川上哲也さん
support-com.hida@vega.ocn.ne.jp 0577-36-0701 fax:36-5516